

# 月刊 やちまなこ

2018. 8.15 発行

No.249

## 8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

「ジョッピンカケタカ」と夕方近くになると鳴いていたエゾセンニュウは8月に入ると早朝から鳴き始めていた。気がつけばその鳴き声も聞くことなはなくなり、蒸し暑い日には近くの林からコエゾゼミの鳴き声が聞こえてくる。今月1日には気温も上がり、釧路管内でも30度を超える気温となり、今年一番の暑さを記録した。道外の方にはこれくらいの温度は涼しいと言われるかもしれないが、我が道産子にとって25度を超えると厳しいものがある（加齢とともに!?!）。お盆を迎えた釧路湿原に訪れた観光客の足元には、まるで金平糖のようなミゾソバの花が咲いていた。



## 塘路フィールドノート【7/15～8/14】

### 【野鳥】

最近、親鳥とほぼ変わらない大きさまで成長した幼鳥の姿をよく見かけます。親鳥たちはやぶや葉の陰に隠れてなかなか姿を見せてくれない一方、好奇心旺盛な幼鳥たちは見つけやすい場所によく出てきてくれます。



オジロワシ (塘路湖畔)

センター上空を飛んでいた幼鳥。今年の夏は湖畔でオジロワシの姿をよく見かけます



アオサギ (塘路湖)

流木の上の成鳥(右)と幼鳥(左)。幼鳥はすでに成鳥と同じ大きさになっています



ダイサギ (塘路湖畔)

久々に登場のダイサギ。頭上を飛ぶアオサギを見ていたら、対岸から突然現れました



アオジ (塘路湖畔)

せわしく動き回っていた幼鳥。しばらく目で追ってようやく姿を確認できました



ゴジュウカラ (塘路湖畔)

目の前に飛んできた幼鳥。餌探しに夢中でこちらには全く気付いていませんでした



カワウ (塘路湖畔)

この時期の塘路湖での確認はまれです。濃霧の中、樹上で左右を見渡していました

## 【植物】

暑い夏が来たのも束の間、塘路湖畔に吹く風は早くも秋の気配。しかし、ツリガネニンジンやクサレダマなどの秋の植物は例年になくのんびりと開花。慌ただしく変わる季節に植物たちが追いつけていないのかもしれない。



**ツリガネニンジン (サルボ展望台付近)**  
登山道脇に咲いていました。地味な花が多い森の中で、鮮やかな紫色の花は一際目立ちます



**クサフジ (サルボ展望台下)**  
こちらも鮮やかな紫色の花。国道沿いの日当たりの良い場所でたくさん見られます



**トモエソウ (サルルン展望台)**  
展望台下に咲いていました。個体数はやや少なめですが、大型で見つけやすい花です



**クサレダマ (塘路湖畔)**  
水気が多い場所で見られます。ピンクのホザキシモツケと並ぶとより色彩が引き立ちます



**ナガボノシロワレモコウ (塘路湖畔)**  
同時期の花の開花が遅れる中で、例年どおりに開花。ちょうど見頃を迎えていました



**エゾミソハギ (コッタロ湿原)**  
まだ咲き始め。周辺ではホザキシモツケとともにピンク色の花が目立っていました

## 【昆虫】

先月「サト」と「ヤマ」のキマダラヒカゲ2種が大発生したかと思えば、例年今時期に見られるヒョウモンチョウの仲間が今年はまだほとんど見られません。今年はチョウの仲間が多い種と少ない種の差が大きいようです。



**オオヒカゲ (サルルン展望台)**  
個体数は少なめですが、名前のおおりの大型のチョウで良く目立ちます。翅の模様も特徴的



**アカマダラ (塘路湖畔)**  
今年アカマダラは多いかもしれません。センターの中に入ってくることもあります



**マユタテアカネ (サルルン展望台)**  
発生直後でまだ体が黄色い♂の未熟個体。赤トンボの仲間では今年の初確認でした

## ■塘路地区の自然と歴史を学びました

8月11日(土)、塘路湖畔歩道とフィトンチッドの森遊歩道で塘路地区の自然と歴史を二本立てで紹介するイベントを開催しました。歴史についての解説は標茶町博物館の坪岡学芸員が担当し、標茶町の歴史および縄文人やアイヌ人の暮らしについて紹介いただきました。自然については当センターの職員が担当し、道中で見られる野鳥や植物を紹介するとともに、縄文人やアイヌ人が当地の自然をどのように利用してきたのかについても解説を行いました。

あいにくの雨模様でしたが、かつてこの地で暮らした人々と自然との関わりについて、参加者の皆さんは熱心に解説に聞き入っていました。

参加者 12名



標茶町発祥の地で町の歴史の解説

## 切り絵でアイヌ文様作りを体験

エコミュージアムセンター夏休み企画「切り絵でアイヌ文様作り」を開催しました。渦巻きや棘などが組み合わせたアイヌ文様には、それぞれ意味があり、魔除けなどの願いも込められていることを説明した後、折り紙とハサミを使い様々な文様作りを体験。ほとんどの参加者は道外の観光客でしたが、出来上がった作品に関心を寄せていました。



作品と一緒に  
「はいポーズ」

## クイズに答えて景品をゲットしよう!

先月号でお知らせしました標茶町博物館「ニタイ・ト」とのコラボ企画「あるこっと&ニタイ・トクイズラリー」を8月から開始しました。

クイズはあるこっととニタイ・トそれぞれの問題があり、館内の展示や歩道の解説板などに答えが隠されています。すべての問題にお答えいただいた方には、もれなく記念品を差し上げます。

開催期間は特になく、いつでも参加することができますので、参加希望の方はぜひお気軽に職員にお声掛けください。



## 9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### ◎バードカービング初心者講座 一回目

[日 時] 9月8日(土) 10時～15時

[定 員・参加料] 10名 5,500円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

※全5回(9/8、10/14、11/11、12/2、1/6)の講座に参加可能な方

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### ◎アイヌ民族が利用した植物を観察しよう

[日 時] 9月9日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 7/15(3:56,19:00). 7/31(4:12,18:45). 8/14(4:27,18:27)

～編集後記～

■お盆休で帰省や観光で訪れた人たちにでぎわう釧路湿原ですが、道外から来た方には涼しくて心地よい気温の下、楽しんでいるようです。例年ですとお盆を過ぎる頃から昼間と朝夕の気温差が出てきますので、上着を用意した方がいいかと思えます。また、涼しいとはいえ熱中症対策も忘れずにスポーツドリンクなどを携帯してください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料